令和７年度以降の工学部化学生命工学科および機械・航空宇宙工学科における
学校推薦型選抜の変更について

 令和 5 年 9 月 25 日
名古屋大学

 工学部化学生命工学科および機械・航空宇宙工学科では，入学者の多様性を確保し，工学
分野において，社会を構成する比率と大きな乖離が見られる女性比率の是正を目指すため，
学校推薦型選抜において，令偡䄛ጀ ᖊ䃀�萌䃀藰菬⼐欓学科ఁ墤�扒�፵㥸䄶䂃ക搞惛ᇩꏊᔀ௱㤜　㶲沐ʃᡋ᠋埐Ṁ蓀虰
 
記

【化学生命工学科】
 １ ．学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）
 現 行： ９ 名
 変更後（令和７年度入学者選抜以降）： １４ 名（一般枠 ７名、女子枠 ７名）

 ２ ．一般選抜
 現 行：９０ 名
 変更後（令和７年度入学者選抜以降）：８５ 名

 ＜背景＞
化学生命工学科においては，革新的な材料を構成する新しい物質の開発のみならず，生命
現象の分子レベルでの解明から生物の工学的応用まで幅広い研究領域を扱っており，さら
に現在，社会で求められている環境問題の解決やエネルギー関連分野への展開などには，
様々な視点や優れた能力を持った人材の確保が不可欠となっている。
工学部化学生命工学科では，学校推薦型選抜における募集人員を９名から１４名に増や
し，そのうち７名を女子枠とする。

【機械・航空宇宙工学科】
 １ ．学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）
 現 行芓颟儍．舿 ྯ
 桋㹠빶 １５ 名（一般枠 １０名、女子枠 ５名）

 ２ ．一般選抜
 変更なし（令和７年度入学者選抜以降）：１３５名

 ＜背景＞
機械航空宇宙工学分野は，産業構造の変化により，社会で求められる人材像や必要とされる研究分野が変革の時期を迎えている．多様な価値観を持った技術者，研究者を育成するため，学校推⸁먀選抜における募集人員１５名のうち，５名を女子枠とする．  † ††††† ††††† †††††以上